

## 6. ごみ減量化・リサイクル、適正排出について

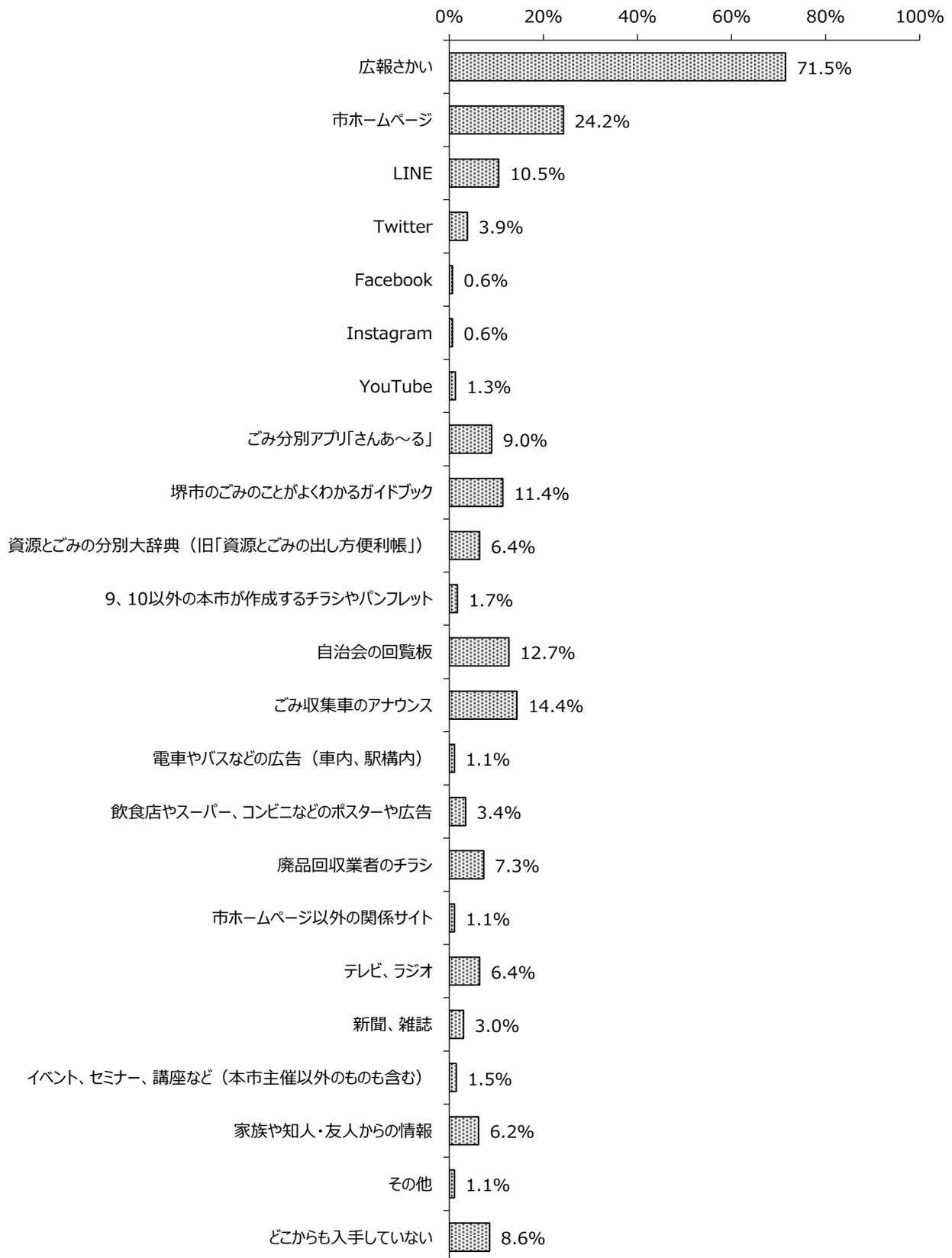
### (1) ごみ減量化・リサイクルについて

#### «ごみ減量化・リサイクルに関する情報の入手方法»

問 61. ごみ減量化・リサイクルに関する情報を、主にどのような方法で入手していますか。【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」が 71.5%と最も高く、次いで「市ホームページ」が 24.2%、「ごみ収集車のアナウンス」が 14.4%、「自治会の回覧板」が 12.7%、「堺市のごみのことがよくわかるガイドブック」が 11.4%となっている。市の広報媒体が主な情報源となっていることから、広報さかいや市ホームページ、ごみ収集車のアナウンスなどを活用して情報発信を継続する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	333	71.5%
2	市ホームページ	113	24.2%
3	LINE	49	10.5%
4	Twitter	18	3.9%
5	Facebook	3	0.6%
6	Instagram	3	0.6%
7	YouTube	6	1.3%
8	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	42	9.0%
9	堺市のごみのことがよくわかるガイドブック	53	11.4%
10	資源とごみの分別大辞典 (旧「資源とごみの出し方便利帳」)	30	6.4%
11	9、10以外の本市が作成するチラシやパンフレット	8	1.7%
12	自治会の回覧板	59	12.7%
13	ごみ収集車のアナウンス	67	14.4%
14	電車やバスなどの広告 (車内、駅構内)	5	1.1%
15	飲食店やスーパー、コンビニなどのポスターや広告	16	3.4%
16	廃品回収業者のチラシ	34	7.3%
17	市ホームページ以外の関係サイト	5	1.1%
18	テレビ、ラジオ	30	6.4%
19	新聞、雑誌	14	3.0%
20	イベント、セミナー、講座など (本市主催以外のもも含む)	7	1.5%
21	家族や知人・友人からの情報	29	6.2%
22	その他	5	1.1%
23	どこからも入手していない	40	8.6%



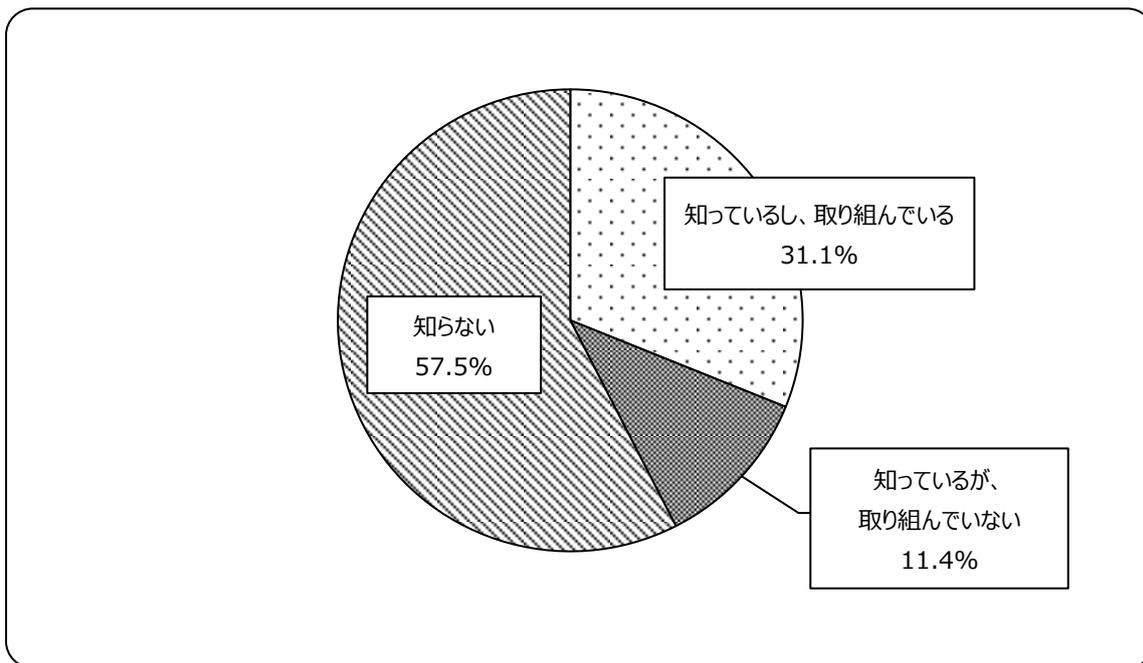
## (2)「堺・ごみ減量 4R 大作戦」について

### 「堺・ごみ減量 4R 大作戦」の認知度

問 62. 本市では、ごみに関わる環境問題の解決と安定的なごみ処理体制の構築のため、令和 4 年 7 月から令和 6 年 3 月までをごみ減量に集中的に取り組む期間と位置づけ、堺・ごみ減量 4R 大作戦を実施しています。この取組を知っていますか。 【選択は 1 つ】

「知らない」が 57.5%と全体の半数を超えている。取組が浸透していないことから、広報さかいや市ホームページ、ごみ収集車のアナウンスに加え、SNS や協力企業・店舗と連携した情報発信も活用してさらなる周知を行う。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	知っているし、取り組んでいる	145	31.1%
2	知っているが、取り組んでいない	53	11.4%
3	知らない	268	57.5%
	計 (回答総数)	466	100.0%



◀◀堺・ごみ減量 4R 大作戦の情報源▶▶

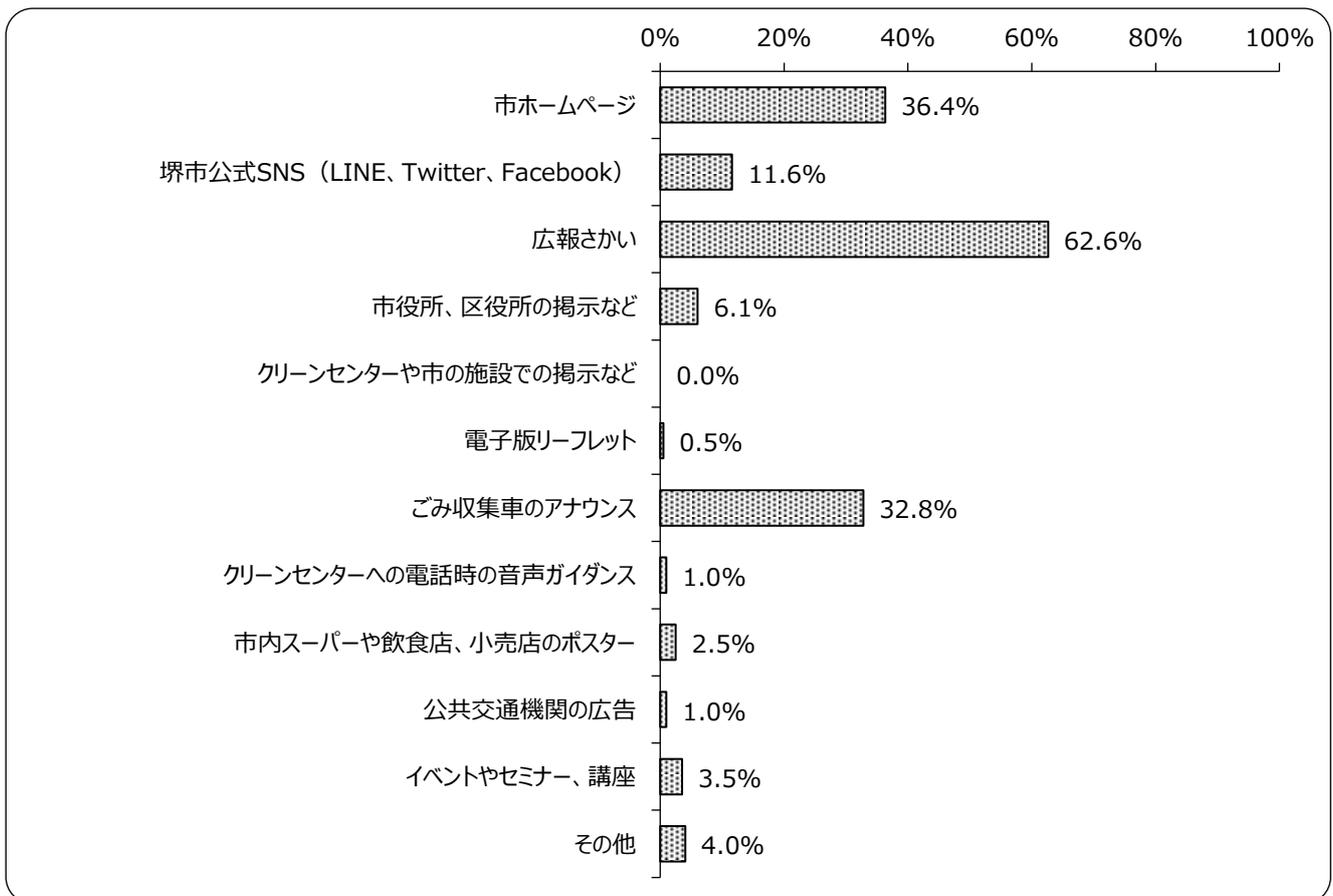
問 63. 問 62 で「1 知っているし、取り組んでいる」「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。

堺・ごみ減量 4R 大作戦についてどこで知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

取組の情報源は、「広報さかい」が 62.6%と最も高く、次いで「市ホームページ」が 36.4%、「ごみ収集車のアナウンス」が 32.8%となっている。広報さかい 7 月号に取組概要の記事、11 月号に関連イベントの告知記事を掲載し、ごみ収集時には取組概要を継続的にアナウンスした。また、令和 4 年 12 月下旬に市ホームページで電子版リーフレットを公開し、令和 5 年 1 月からポスターを公共施設や市内協力店舗に掲出した。引き続き認知度向上及び行動変容につながる取組を推進する。

	選択項目 (N=198)	回答数	回答数/N
1	市ホームページ	72	36.4%
2	堺市公式SNS (LINE、Twitter、Facebook)	23	11.6%
3	広報さかい	124	62.6%
4	市役所、区役所の掲示など	12	6.1%
5	クリーンセンターや市の施設での掲示など	0	0.0%
6	電子版リーフレット	1	0.5%
7	ごみ収集車のアナウンス	65	32.8%
8	クリーンセンターへの電話時の音声ガイダンス	2	1.0%
9	市内スーパーや飲食店、小売店のポスター	5	2.5%
10	公共交通機関の広告	2	1.0%
11	イベントやセミナー、講座	7	3.5%
12	その他	8	4.0%



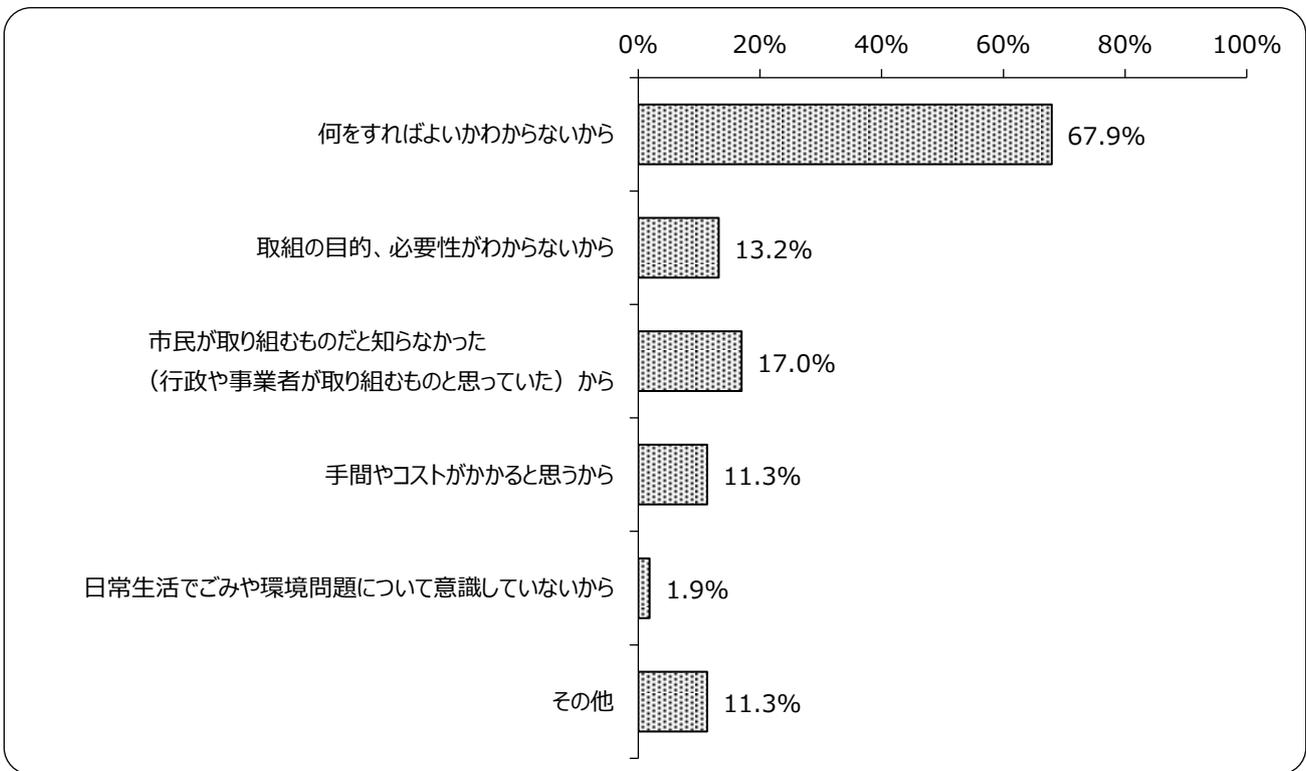
「堺・ごみ減量 4R 大作戦に取り組まない理由」

問 64. 問 62 で「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。取り組んでいない理由は何ですか。  
 【複数選択可：いつでも】

「何をすればよいかわからないから」が 67.9%と最も高く、次いで「市民が取り組むものだとは知らなかった（行政や事業者が取り組むものと思っていた）から」が 17.0%、「取組の目的、必要性がわからないから」が 13.2%となっている。

市民にごみ減量の実践方法がまだまだ伝わっていないことから、広報さかいや市ホームページを活用してごみ減量につながるツールを紹介するなど、日常生活で実践できる具体的な行動を周知する必要がある。

	選択項目 (N=53)	回答数	回答数/N
1	何をすればよいかわからないから	36	67.9%
2	取組の目的、必要性がわからないから	7	13.2%
3	市民が取り組むものだとは知らなかった（行政や事業者が取り組むものと思っていた）から	9	17.0%
4	手間やコストがかかると思うから	6	11.3%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していないから	1	1.9%
6	その他	6	11.3%



### (3) 「ごみの 4R 運動」について

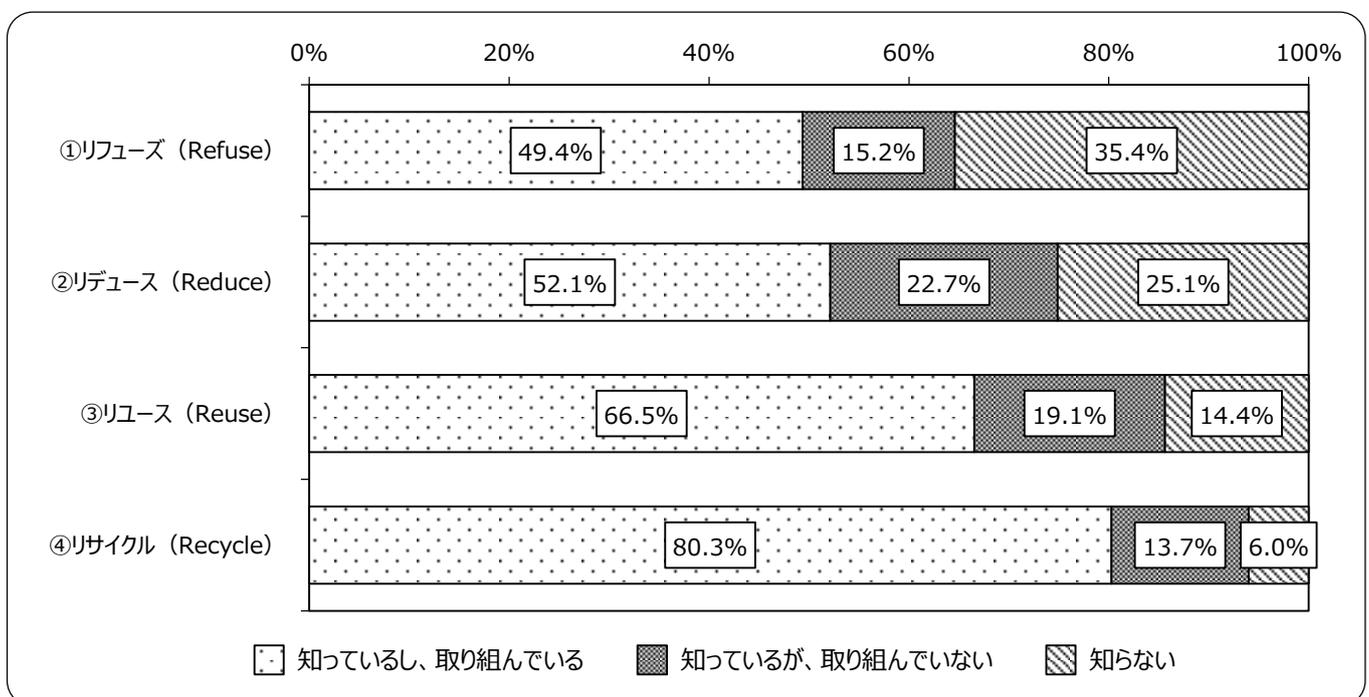
#### «ごみの 4R 運動の認知度»

問 65. ごみの 4R 運動を知っていますか。ごみの 4R 運動とは、ごみの減量につながる行動を示すリフューズ (Refuse : 不要なものを断る)、リデュース (Reduce : ごみを減量する)、リユース (Reuse : 繰り返し使う)、リサイクル (Recycle : 再資源化する) の 4 つの単語の頭文字をとった総称です。堺・ごみ減量 4R 大作戦では市民の皆様実践してもらいたい取組として推進しています。 【各項目 : 選択は 1 つ】

「知っているし、取り組んでいる」を回答した割合は、「リフューズ」が 49.4%、「リデュース」が 52.1%、「リユース」が 66.5%、「リサイクル」が 80.3%となった。「知らない」を回答した割合は、「リフューズ」が 35.4%、「リデュース」が 25.1%、「リユース」が 14.4%、「リサイクル」が 6.0%となった。

4R のうち、「リサイクル」は、「知っているし、取り組んでいる」「知っているが取り組んでいない」を合計して、94.0%となっているのに対し、「リフューズ」は 64.6%と低いため、リフューズ・リデュースを軸に 4R に関する情報発信を継続する必要がある。

選択項目 (N=466)	知っているし、 取り組んでいる	知っているが、 取り組んでいない	知らない	計 (回答総数)
①リフューズ (Refuse)	230 49.4%	71 15.2%	165 35.4%	466 100.0%
②リデュース (Reduce)	243 52.1%	106 22.7%	117 25.1%	466 100.0%
③リユース (Reuse)	310 66.5%	89 19.1%	67 14.4%	466 100.0%
④リサイクル (Recycle)	374 80.3%	64 13.7%	28 6.0%	466 100.0%



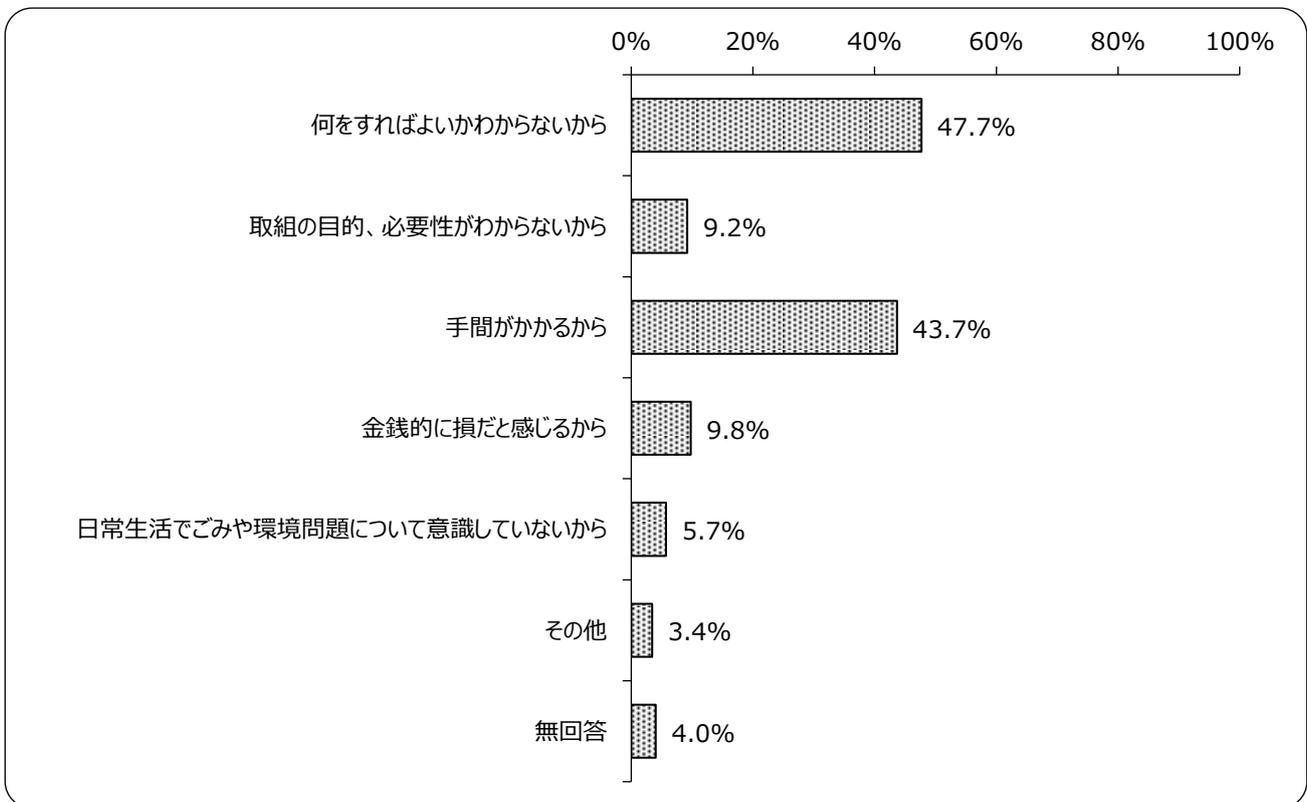
「ごみの 4R 運動に取り組まない理由」

問 66. 問 65 でいずれかの項目について「2 知っているが、取り組んでいない」と回答された方に伺います。取り組んでいない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

「何をすればよいかわからない」が 47.7%と最も多く、続いて「手間がかかるから」が 43.7%、「金銭的に損だと感じるから」が 9.8%、「取組の目的、必要性がわからないから」が 9.2%となった。

4R 運動の実施に向けて、4R に関する具体的な手法について積極的に情報発信を行い、ごみに関わる環境問題の必要性や目的などについても継続して情報発信を行う必要がある。

	選択項目 (N=174)	回答数	回答数/N
1	何をすればよいかわからないから	83	47.7%
2	取組の目的、必要性がわからないから	16	9.2%
3	手間がかかるから	76	43.7%
4	金銭的に損だと感じるから	17	9.8%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していないから	10	5.7%
6	その他	6	3.4%
	無回答	7	4.0%



#### (4) ごみ減量の具体的取組について

##### 「リユースの取組」

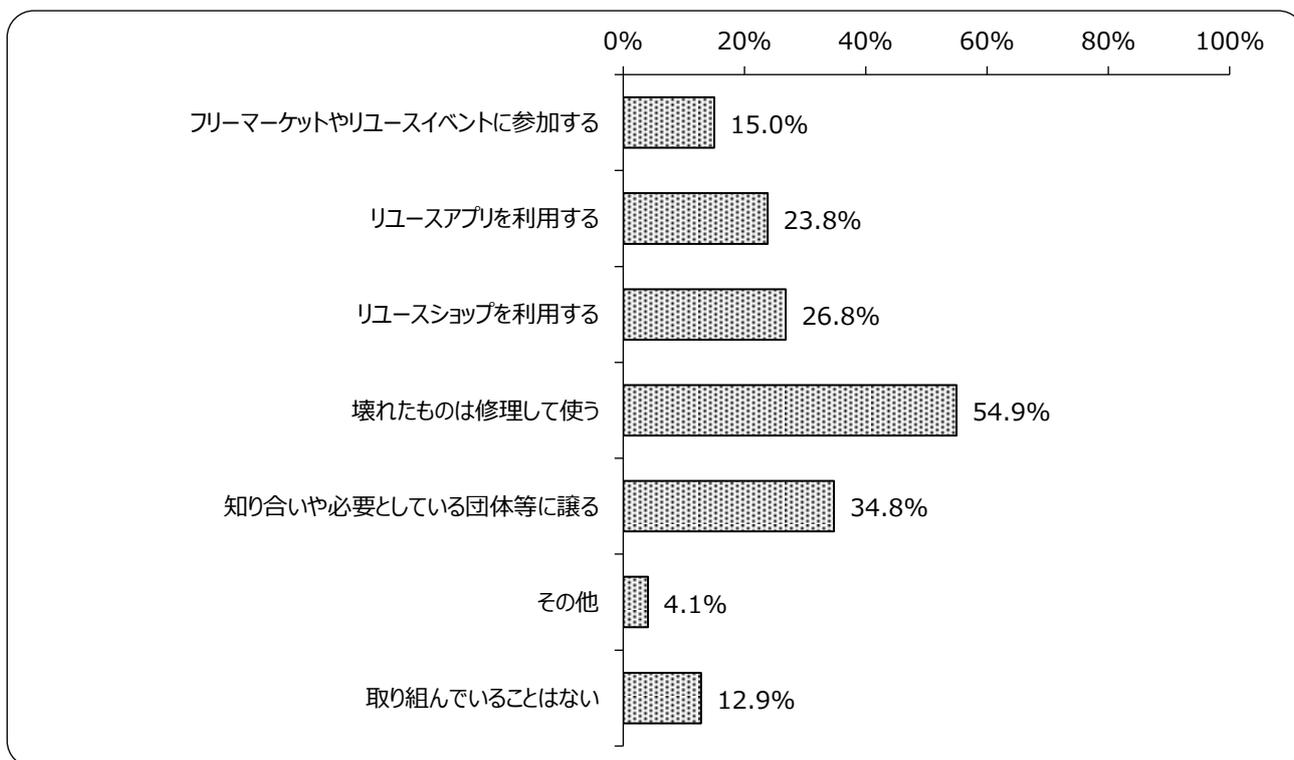
問 67. リユース（Reuse：繰り返し使う）に関して、現在どのような行動に取り組んでいますか。

【複数選択可：いくつでも】

「壊れたものは修理して使う」が 54.9%と最も高く、次いで「知り合いや必要としている団体などに譲る」「リユースショップを利用する」「リユースアプリを利用する」と続いており、一部の市民に関しては、リユース意識の醸成が進んでいることがわかる。

「フリーマーケットやリユースイベントに参加する」を選択した方の割合が最も低く、新型コロナウイルス感染症拡大による影響でイベントが開催できない状況が続いたことが要因の一つと考えられる。広報さかいや市ホームページなどでリユースアプリの活用も含めたリユースに関する情報発信を積極的に実施する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	フリーマーケットやリユースイベントに参加する	70	15.0%
2	リユースアプリを利用する	111	23.8%
3	リユースショップを利用する	125	26.8%
4	壊れたものは修理して使う	256	54.9%
5	知り合いや必要としている団体等に譲る	162	34.8%
6	その他	19	4.1%
7	取り組んでいることはない	60	12.9%

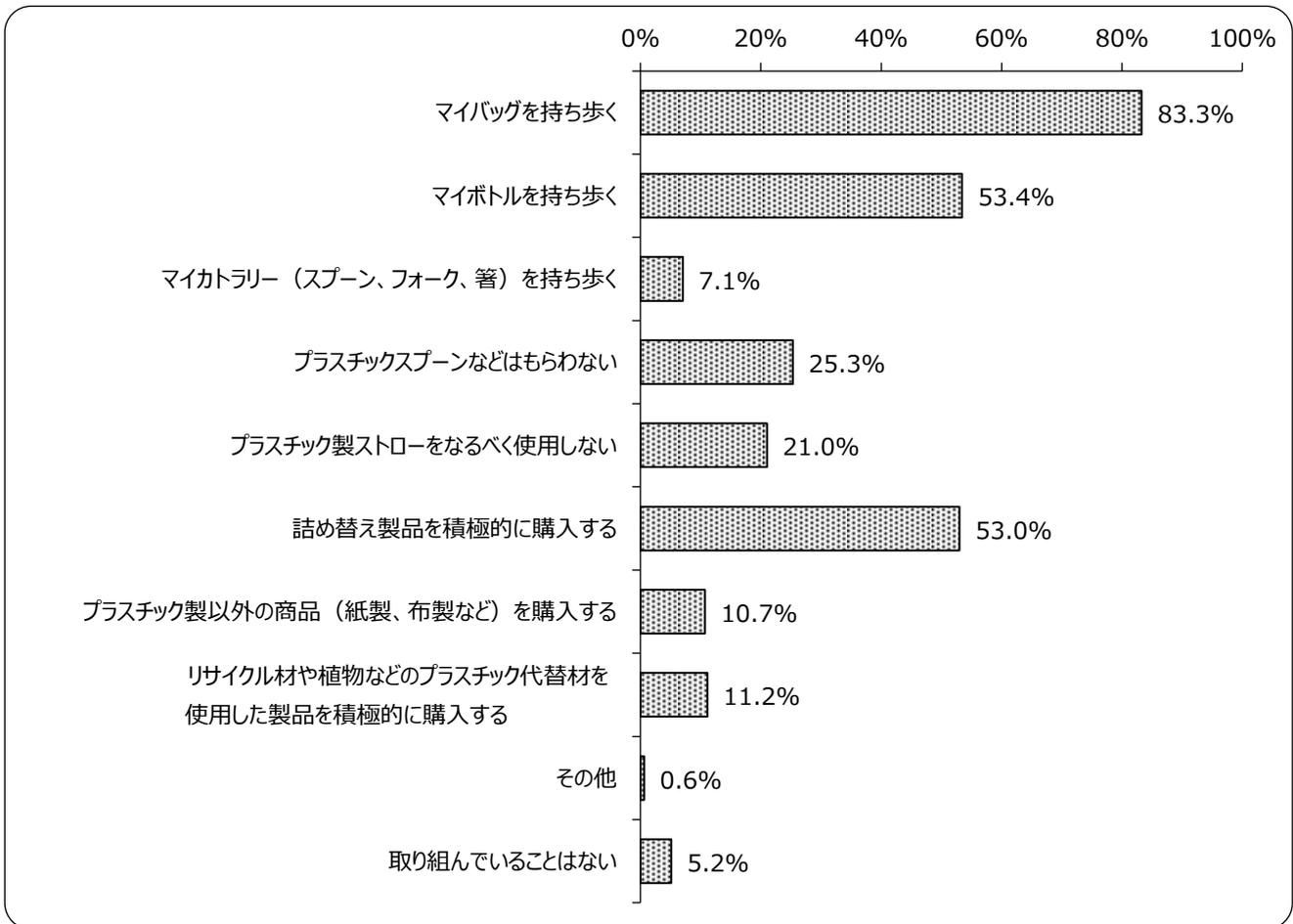


《使い捨てプラスチック削減に向けた取組》

問 68. 使い捨てプラスチック削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。【複数選択可：いくつでも】

「マイバッグを持ち歩く」が 83.3%と最も高く、レジ袋有料化義務化やマイバッグ携帯キャンペーンなどの情報発信により、マイバッグ携帯率の上昇に一定の効果があったものとする。「マイボトルを持ち歩く」「詰め替え製品を積極的に購入する」は 50%を超える結果となっており、更なる削減に向けて、継続的に情報発信を進める必要がある。マイバッグやマイボトルの携帯と比較して、マイカトラリーの携帯率が低いことがわかったため、マイカトラリー携帯推奨の取組を推進する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	マイバッグを持ち歩く	388	83.3%
2	マイボトルを持ち歩く	249	53.4%
3	マイカトラリー（スプーン、フォーク、箸）を持ち歩く	33	7.1%
4	プラスチックスプーンなどはもらわない	118	25.3%
5	プラスチック製ストローをなるべく使用しない	98	21.0%
6	詰め替え製品を積極的に購入する	247	53.0%
7	プラスチック製以外の商品（紙製、布製など）を購入する	50	10.7%
8	リサイクル材や植物などのプラスチック代替材を使用した製品を積極的に購入する	52	11.2%
9	その他	3	0.6%
10	取り組んでいることはない	24	5.2%

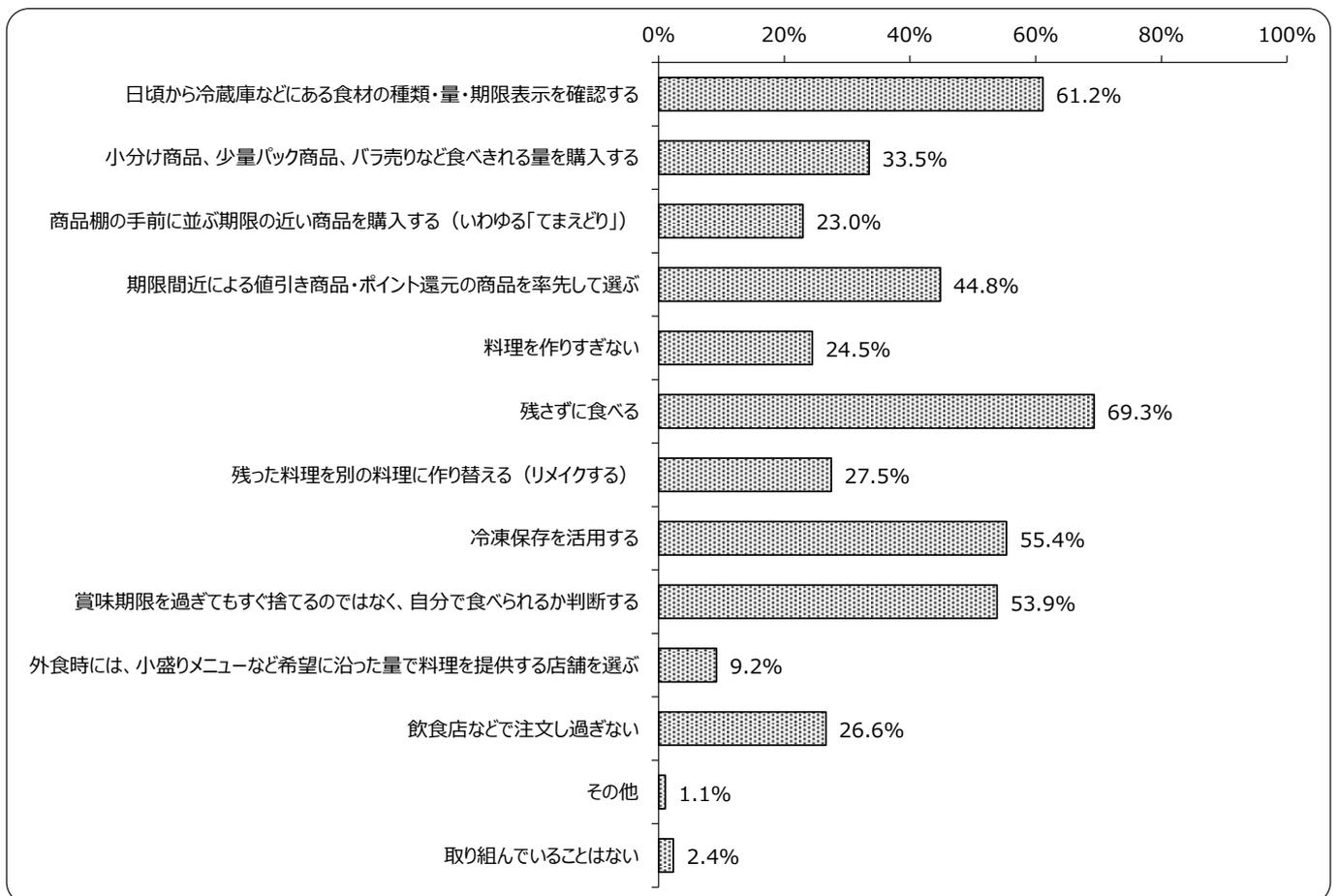


《食品ロス削減に向けた取組》

問 69. 食品ロス（食べられる状態であるにも関わらず、捨てられている食品）削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。 【複数選択可：いつでも】

食品ロス削減に向けて、「取り組んでいることはない」が 2.4%となっており、何らかの食品ロス削減に関する取組をしているとして項目を選択した方が全体の 97.6%と高い結果となった。「商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）」が 23.0%と他の項目と比較して低いことから、周知を継続する必要がある。各項目の取組をより多く実践してもらえるように、広報さかいや市ホームページ、Twitterでの情報発信や動画配信、出前講座、企業と連携した取組を実施するなど食品ロス削減に関する情報発信を強化する。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	日頃から冷蔵庫などにある食材の種類・量・期限表示を確認する	285	61.2%
2	小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど食べきれぬ量を購入する	156	33.5%
3	商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）	107	23.0%
4	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	209	44.8%
5	料理を作りすぎない	114	24.5%
6	残さずに食べる	323	69.3%
7	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	128	27.5%
8	冷凍保存を活用する	258	55.4%
9	賞味期限を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	251	53.9%
10	外食時には、小盛りメニューなど希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	43	9.2%
11	飲食店などで注文し過ぎない	124	26.6%
12	その他	5	1.1%
13	取り組んでいることはない	11	2.4%



「古紙類の削減に向けた取組」

問 70. 古紙類の削減に向けて、現在どのような行動に取り組んでいますか。

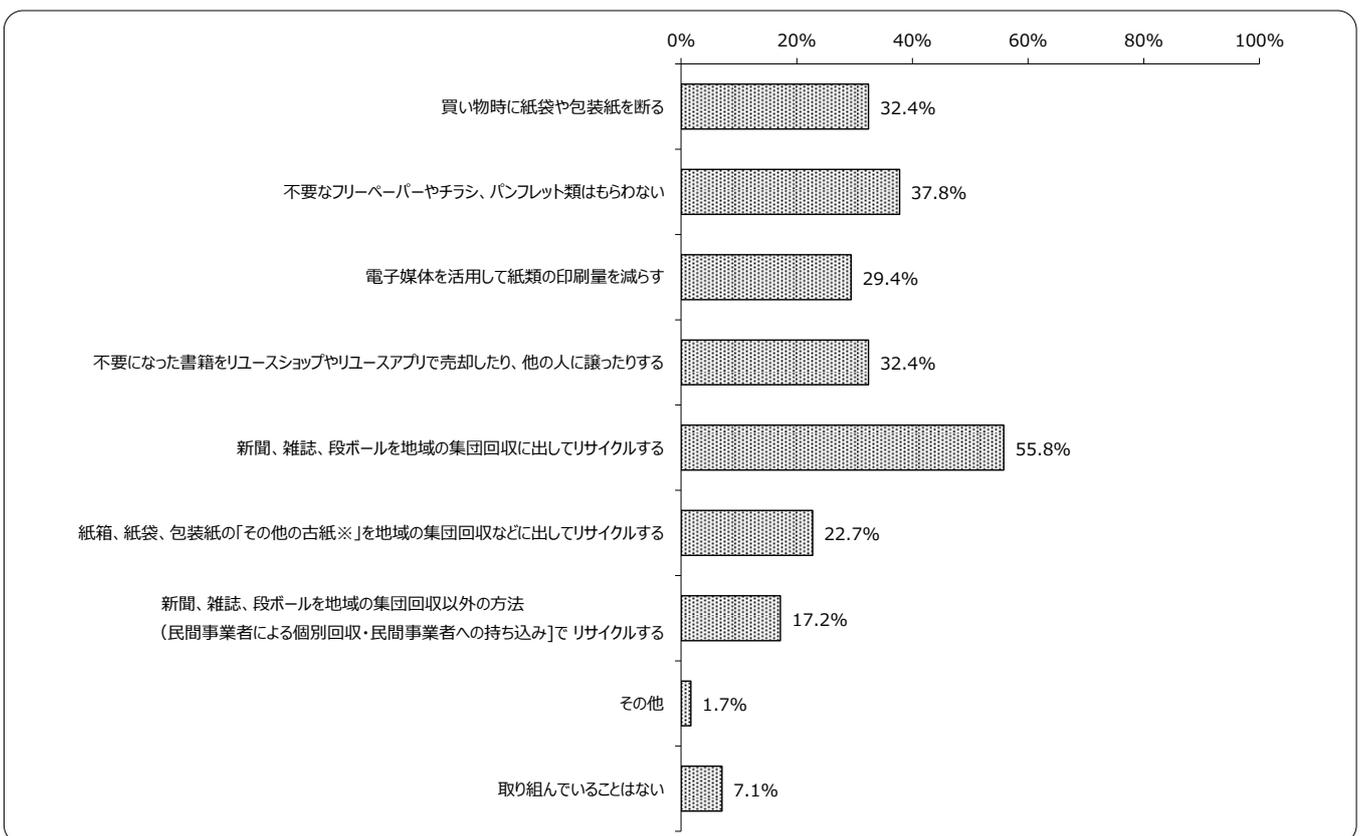
【複数選択可：いくつでも】

古紙類の削減に向けて、「取り組んでいることはない」が 7.1%となっており、古紙類の削減に関する何らかの取組をしているとして項目を選択した方が全体の 92.9%と高い結果となった。

選択項目のうち「紙箱、紙袋、包装紙の「その他の古紙※」を地域の集団回収などに出してリサイクルする」を回答した方が、「新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収に出してリサイクルする」を回答した方の半分以下であり、今後も「その他の古紙」の回収促進のため、積極的に情報発信する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	買い物時に紙袋や包装紙を断る	151	32.4%
2	不要なフリーペーパーやチラシ、パンフレット類はもらわない	176	37.8%
3	電子媒体を活用して紙類の印刷量を減らす	137	29.4%
4	不要になった書籍をリユースショップやリユースアプリで売却したり、他の人に譲ったりする	151	32.4%
5	新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収に出してリサイクルする	260	55.8%
6	紙箱、紙袋、包装紙の「その他の古紙※」を地域の集団回収などに出してリサイクルする	106	22.7%
7	新聞、雑誌、段ボールを地域の集団回収以外の方法（民間事業者による個別回収・民間事業者への持ち込み）でリサイクルする	80	17.2%
8	その他	8	1.7%
9	取り組んでいることはない	33	7.1%

※「その他の古紙」とはお菓子などの紙箱や包装紙、紙袋などのリサイクル可能な紙類のこと。



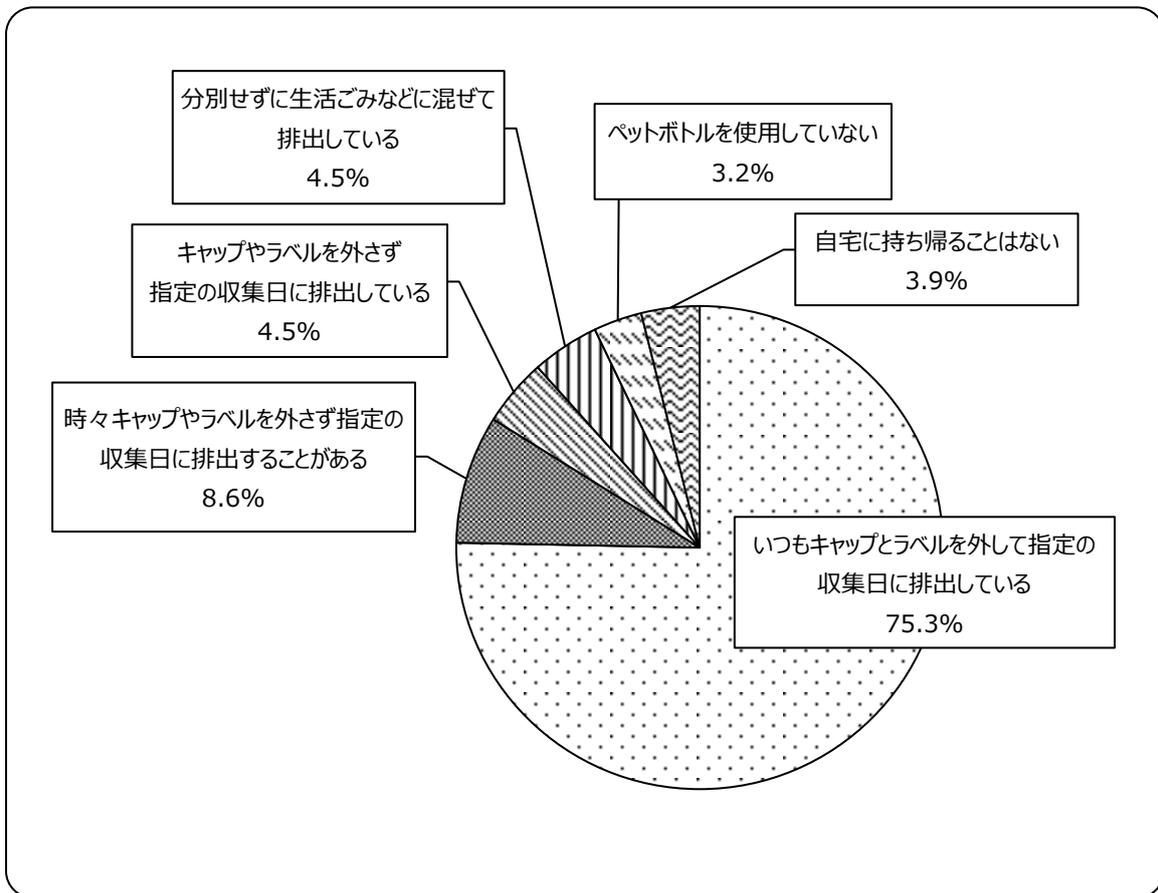
(5) ごみの分別について

《ペットボトルの分別について》

問 71. 本市ではペットボトルはキャップとラベルを外してボトル本体のみに分別し、指定の収集日（月 2 回）に排出することとしています。普段、ペットボトルをどのように分別していますか。 【選択は 1 つ】

「いつもキャップとラベルを外して指定の収集日に排出している」が 75.3%となっている。令和 2 年度のペットボトル組成調査で回収したもののうち、キャップやラベルがついているものが約 40%となっていたため、ペットボトルの正しい分別方法について積極的な情報発信を行い、一定の効果があったものとする。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	いつもキャップとラベルを外して指定の収集日に排出している	351	75.3%
2	時々キャップやラベルを外さず指定の収集日に排出することがある	40	8.6%
3	キャップやラベルを外さず指定の収集日に排出している	21	4.5%
4	分別せずに生活ごみなどに混ぜて排出している	21	4.5%
5	ペットボトルを使用していない	15	3.2%
6	自宅に持ち帰ることはない	18	3.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%

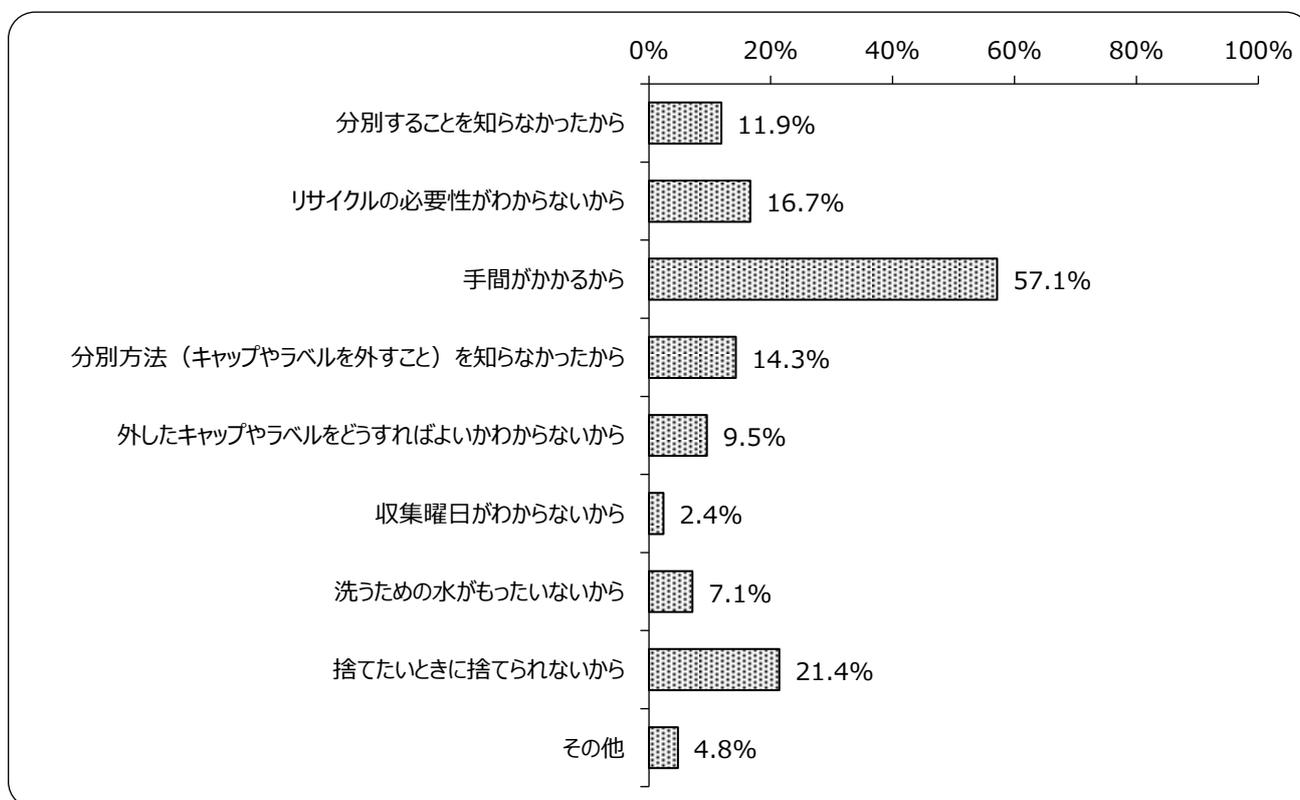


《ペットボトルを分別しない理由》

問 72. 問 71 で「3 キャップやラベルを外さず指定の収集日に排出している」「4 分別せずに生活ごみなどに混ぜて排出している」と回答された方に伺います。分別しない理由は何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

分別しない理由として、「手間がかかるから」が半数以上を占めており、市の排出実態や環境問題、分別の必要性などを中心に情報発信する必要がある。

	選択項目 (N=42)	回答数	回答数/N
1	分別することを知らなかったから	5	11.9%
2	リサイクルの必要性がわからないから	7	16.7%
3	手間がかかるから	24	57.1%
4	分別方法（キャップやラベルを外すこと）を知らなかったから	6	14.3%
5	外したキャップやラベルをどうすればよいかわからないから	4	9.5%
6	収集曜日がわからないから	1	2.4%
7	洗うための水がもったいないから	3	7.1%
8	捨てたいときに捨てられないから	9	21.4%
9	その他	2	4.8%



## (6) 水銀使用製品について

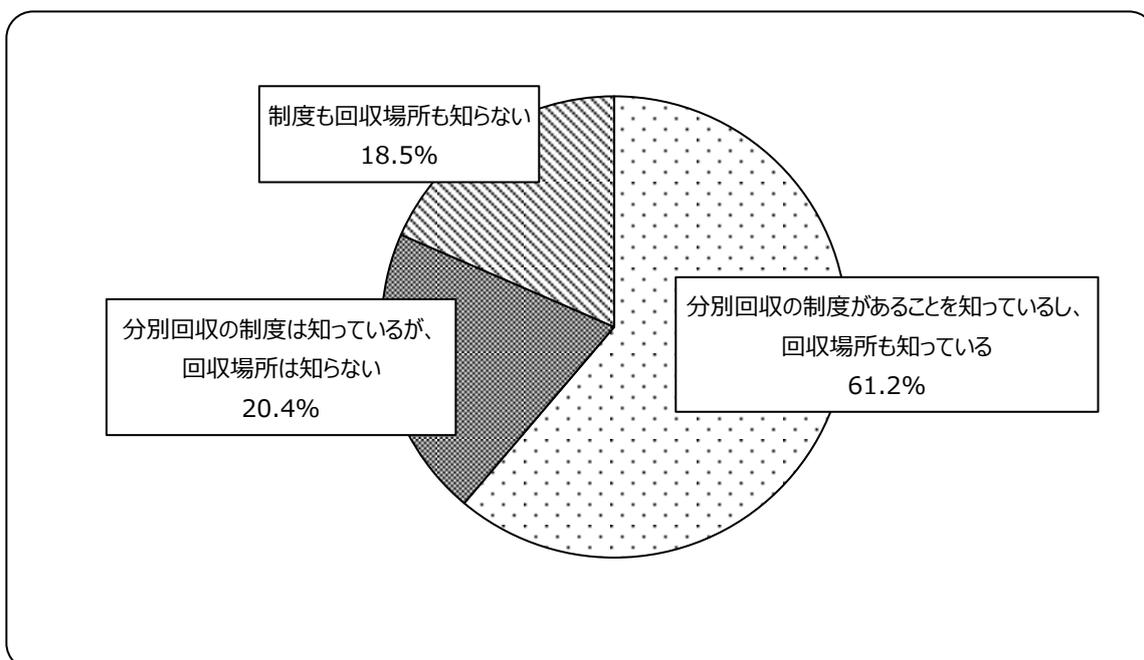
### 「水銀使用製品の分別について」

問 73. 本市ではご家庭から排出される水銀使用製品（乾電池、蛍光管、水銀体温計など）の分別（拠点）回収を行っています。水銀使用製品を分別回収していることを知っていますか。 【選択は1つ】

「分別回収の制度があることを知っているし、回収場所も知っている」「分別回収の制度は知っているが、回収場所は知らない」が、81.6%となっている。

一方、「制度も回収場所も知らない」は 18.5%であった。今後も制度の周知だけでなく、回収場所についてもより一層の周知が必要である。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	分別回収の制度があることを知っているし、回収場所も知っている	285	61.2%
2	分別回収の制度は知っているが、回収場所は知らない	95	20.4%
3	制度も回収場所も知らない	86	18.5%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「水銀使用製品の分別の情報源について」

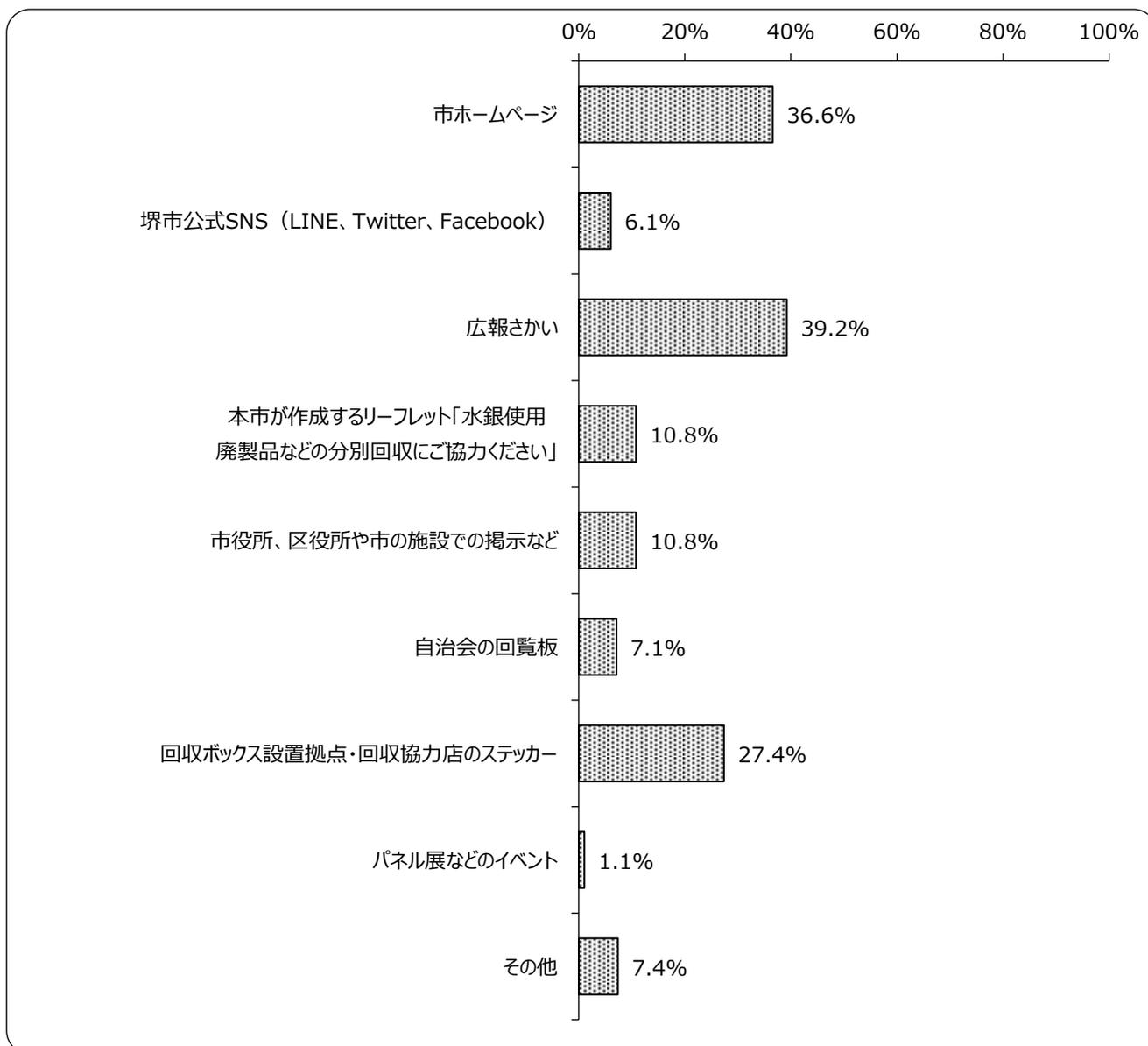
問 74. 問 73 で「1 分別回収の制度があることを知っているし、回収場所も知っている」「2 分別回収の制度は知っているが、回収場所は知らない」と回答された方に伺います。分別回収についてどこで知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」が 39.2%と割合が最も高く、次いで「市ホームページ」が 36.6%、「回収ボックス設置拠点・回収協力店のステッカー」が 27.4%であった。

今後も「広報さかい」により適宜情報発信を行い、「市ホームページ」や「回収ボックス設置拠点・回収協力店のステッカー」における随時の情報発信を引き続き実施する。

	選択項目 (N=380)	回答数	回答数/N
1	市ホームページ	139	36.6%
2	堺市公式SNS (LINE、Twitter、Facebook)	23	6.1%
3	広報さかい	149	39.2%
4	本市が作成するリーフレット「水銀使用廃製品などの分別回収にご協力ください」	41	10.8%
5	市役所、区役所や市の施設での掲示など	41	10.8%
6	自治会の回覧板	27	7.1%
7	回収ボックス設置拠点・回収協力店のステッカー	104	27.4%
8	パネル展などのイベント	4	1.1%
9	その他	28	7.4%



《水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計の保有状況について》

問 75. 水銀使用製品のうち、特に水銀の使用量が多い製品として、水銀体温計、水銀温度計、水銀血圧計があります。ご家庭で保有しているものはありますか。 【複数選択可：いくつでも】

「ない」が 77.3%と割合が最も高く、次いで「水銀体温計」が 18.7%、「水銀温度計」が 5.6%、「水銀血圧計」が 1.5%であった。水銀使用廃製品の排出状況や保有状況に応じて、分別対象品目や回収方法について検討する。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	水銀体温計	87	18.7%
2	水銀温度計	26	5.6%
3	水銀血圧計	7	1.5%
4	ない	360	77.3%

